



第55回技能五輪全国大会 「自動車板金」で金メダルを受賞

大野諒雅さん(長野・22歳)

満23歳以下の青年を対象に日本の文化やものづくりの技術を競う技能五輪大会。第55回の全国大会が昨年11月に栃木県で開かれ、42職種ある競技のうち「自動車板金」で優勝し金メダルを獲得した大野諒雅さんを紹介します。

進修館高等学校在学中から先輩の影響で、技能五輪の存在を意識し始めたという大野さん。卒業後に株式会社スバル群馬製作所に入社した大野さんは、日々職場で指導員のアドバイスを受けながら自動車板金の練習を行うなど、板金技術を磨いてきました。そして平成27年に同大会に初めて出場し敢闘賞を、翌年の大会では銀賞を受賞しました。

大野さんが挑戦した自動車板金とは、事前に与えられた図面をもとに、1枚の平鋼板から自動車車体をモデル化した40センチメートルほどの複雑な曲面形状の製品を、ハンマーなどを用



いて手加工で成形、溶接し組み立てるもの。競技には7時間という制限時間が設けられているため、時間配分が難しいそうです。これまで2回の大会に出場した経験から、「心・技・体」がそろわないと優勝することは難しいと実感した大野さんは、過去の課題に熱心に取り組み技術を高めただけでなく、本番を想定し大勢のギャラリーの前で訓練を行うなど、集中力を養い精神面の強化も心掛けました。ついに、これらの努力が報われ、全国大会に出場した25人の選手たちの頂点に立ったのです。

大野さんの職場では20年間技能五輪に挑戦し続けてきましたが、今回の金メダル受賞は職場としても初めての快挙となり、たくさんの方からその成果をたたえられたそうです。また、最近では仕事の合間を縫って母校を訪れ、生徒の前に自動車板金の基礎を披露しているとのこと。「熱心に指導してくださった高校の先生にはどんな状況でも諦めないこと、そしてコミュニケーションの大切さを教えていただきました。技術を伝えることで母校に少しでも恩返しできたらいいですね」と話します。1月から試作車の製作など開発関係の業務に携わっているという大野さんは「技能五輪を通して学んだことを仕事に生かすのはもちろん、人としてのマナーや振る舞いを大事にしていきたい」と力強く話し、熱い思いを胸に技術者として新たな一歩を踏み出しました。

はじめまして



平成29年4月生まれのお子さんを募集します

○2月1日(休)～28日(水)に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318)
※応募要領は市ホームページをご覧ください。
○応募者多数の場合は、3月2日(金)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



★★★平成29年2月生まれのおともだち★★★



吉田 帆花ちゃん(中央)
平成29年2月3日生まれ
父・博行さん 母・史子さん
「笑顔が絶やさない
健康やかに♡」



佐藤 舞優ちゃん(野)
平成29年2月10日生まれ
父・考浩さん 母・佳菜子さん
「笑顔いっぱい
優しい子に育ってね!」



角 優喜ちゃん(長野)
平成29年2月12日生まれ
父・正喜さん 母・尚美さん
「元気に優しい子に
育ってね!」



市川 ひまりちゃん(長野)
平成29年2月5日生まれ
父・亮さん 母・葵さん
「お姉ちゃんと
仲良くしてね!」



浜川 太陽ちゃん(佐賀)
平成29年2月28日生まれ
父・史弥さん 母・楓さん
「ニコニコ元気に育ってね♡」



中村 心春ちゃん(佐賀)
平成29年2月5日生まれ
父・健太さん 母・幸子さん
「可愛いヤンチャガール☆」

ぎょうだの会社を クローズアップ!!

株式会社イズミ

それぞれの思いに寄り添った整理を目指して



会社プロフィール

代表取締役 久保 公人
【事業内容】粗大ゴミ回収、遺品整理、生前整理、ハウスクリーニング
【所在地】埼玉4173-2

平成23年2月に創業した株式会社イズミは遺品整理を中心に、引越越しごみや自分では困難な物の片づけなどを行っている企業です。
同社には代表取締役の久保公人さんをはじめ、遺品整理の取り扱い手順や法規などの知識を有する「遺品整理士」が在籍。「どこから手をつけたらいいかわからない」という依頼者に寄り添い、専門知識を持った社員が丁寧かつ迅速に作業に当たります。と久保さんは話してくれました。遺品整理では亡くなった方や残された家族の思いに配慮し、一つ一つ確認しながら持ち物を仕分けていきます。立ち合いができない場合でも、写真を撮り電話で確認するなど状況に合わせて柔軟に対応。自力で行うと1、2年かかることもある遺品整理を1部屋につき1時間程度の速さで片付けていきます。作業中は、特に依頼者のプライバシーを守るため、社名の入っていないトラックで現場に赴き、近隣の方にも作業内容は話さないなど細かな心遣いをしています。また、遺品整理と併せて家屋の解体や売

却、相続の相談がある場合にも、地元の不動産会社を紹介するなどワンストップで問題解決できるような体制を作っているそうです。なお、作業で発生した不用品は20種類以上に分別してリサイクルなどへ。使用できる物は市内のNPO法人へ無償で譲渡したり、海外へ輸出したりと廃棄物の抑制に取り組んでいます。
同社では社員育成にも力を入れており、毎回利用者に記入してもらうアンケートをもとにした改善点の共有により、接遇の向上に努めています。さらに専門知識の習得にも積極的に、当初1人だった遺品整理士も現在は3人に増えました。
久保さんは今後について「終活セミナーでの講演依頼もあり、このような機会を生かして遺品整理の認知度をより高めていきたいです。そして悩んでいる方の力になりたいと思っています」と力強く話してくれました。これからも同社は残された家族の気持ちに寄り添いながら、思いの詰まった遺品に向き合っていくこととしていこう。

私の作品

◎皆さんの作品を募集しています。
◎俳句は毎月5日までに、はがき・封書で
広報広聴課へご応募ください。

- | | | | |
|-----------------|------------|------------------|------------|
| 俳句 | 谷郷 柳瀬 久 | 安寧を願って打つや除夜の鐘 | 南河原 中原 定子 |
| 余生など無き人生や初仕事 | 西新町 青木 泰山 | 父母は何処におわす冬銀河 | 長野 吉田 正子 |
| 境内の闇よりぬっと出る熊手 | 富士見町 金井しづ子 | 手際よく夫と分け合う年用意 | 持田 伊藤 洋子 |
| 湯豆腐の土鍋の耳がひびきあう | 忍 大澤 由子 | 目を病みてラジオたよりの師走かな | 須加 長谷 恒 |
| 初雪や音なく重く夜の闇 | 藤原町 斎藤雄次郎 | 病癒え美酒をあおりし雪の宿 | 渡柳 川田 静江 |
| 寒星や黒髪凜と納棺師 | 矢場 高田みつ子 | 初暦わが喜寿の日にまる印 | 持田 田子 敏枝 |
| 紅葉且つ散る溪谷の駅舎かな | 谷郷 羽石 芳道 | 月凍つる優しき友の訃報あり | 佐間 須永 節子 |
| 独り酒鬼籍の母と除夜の音と | 持田 萩原 義久 | 若水を供えてひとり茶をすする | 持田 園部 貞雄 |
| 根岸から歩いて田端晦日蕎麦 | 城西 榊原しずか | 試歩伸ばす梅のかおりに誘われて | 旭町 大川 恵子 |
| 母の遺影くすぐるように煤払 | 荒木 森田 静 | 陸王のロケ追いかける年の暮 | (三沢 一水 監修) |
| 父の所作見よう見真似の注連飾り | | | |

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。
特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課広報広聴担当(内線318)までお寄せください。